

# 2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2024年4月1日～2024年7月31日)



杉本建設株式会社

発行日：2024年8月20日

# 目 次

1. 会社の概要	・・・	P 2
2. 主な環境負荷の実績	・・・	P 2
3. 対象範囲（認証・登録範囲（予定））	・・・	P 3
4. 推進組織図及び役割・責任・権限	・・・	P 3
5. 環境経営方針	・・・	P 4
6. 環境経営目標	・・・	P 5
7. 環境経営計画	・・・	P 6
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営計画	・・・	P 7, P 8
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	・・・	P 9
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・	P 10

## 1. 会社の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

杉本建設株式会社  
代表取締役 杉本昌一

(2) 所在地

本 社 兵庫県尼崎市七松町1-13-9  
資材倉庫 兵庫県尼崎市大庄中通3丁目24,29

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役  
環境管理担当者 総務担当  
連絡先 TEL : 06-6412-2450  
FAX : 06-6419-5035

(4) 事業の概要

土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、  
しゅんせつ工事業、水道施設工事業

(5) 事業規模

年間売上高 617百万円 (2023年4月～2024年3月)

	本社	資材倉庫	合計
総従業員 2024.7.1現在	25人	0人	25人
延べ床面積	105.80㎡	560.3㎡	666.1㎡

(6) 事業年度 4月～翌年3月

## 2. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	環境負荷量		
		2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	96,784		
廃棄物排出量	トン	1,752		
一般廃棄物	トン	3.9		
産業廃棄物	トン	1,748		

使用した電力の二酸化炭素排出係数；0.311 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (関西電力、2021年度の調整後排出係数)

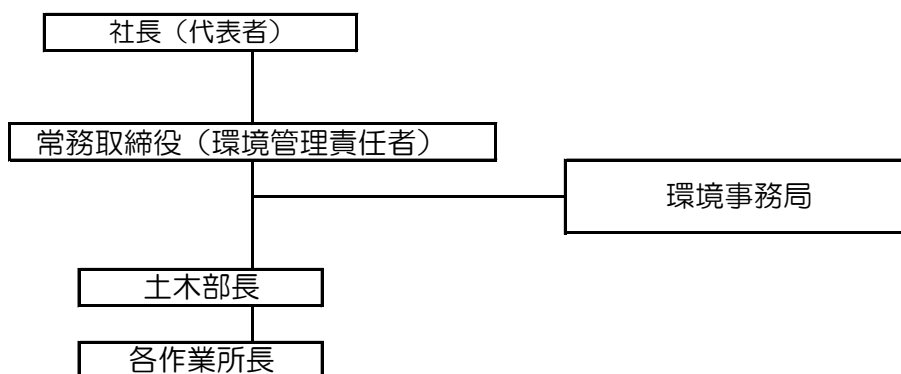
3. 対象範囲「認証・登録範囲（予定）」

対象事業所：本社、資材倉庫

事業活動：土木一式工事

4. 実施体制図及び役割・責任・権限表

【実施体制図】



【役割・責任・権限表】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③環境経営目標、環境経営レポートを承認する ④資源（人・もの・金）の用意をする ⑤エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直し・指示を実施する
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする（環境経営レポートを除く） ④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境事務局	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する環境関連法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる ②作業所の環境目標、活動計画の達成と実績の把握を行う

## 5. 環境経営方針

### 杉本建設株式会社 環境経営方針

当社の経営理念の一つである「人々のより良い暮らしのために」に沿って、地球環境問題と事業の発展を両立させる建設活動に努めます。

1. 当社は下記のとおり、事業活動に伴う環境負荷の低減、並びに工事施工時における環境配慮に努めます。
  - (1) 電力及び燃料の合理的な使用による二酸化炭素排出量の削減
  - (2) 水使用量の削減
  - (3) 廃棄物排出量の削減
  - (4) 環境に配慮した工事の推進
2. 関係する環境法規等並びに地元との約束等を遵守します。
3. 環境経営の継続的改善を図ります。
4. 本方針を全従業員に周知し、社外へも公開します。

制定日：2024年 4月 1日  
杉本建設株式会社  
代表取締役 杉本昌一

## 6. 環境経営目標

No.	環境経営目標	基準年度 2023年度実績		2024年度目標		2025年度目標		2026年度目標	
1	電力使用量の削減 (本社) ※1 (排出係数) (CO <sub>2</sub> 排出量削減) 0.311	24,473	kWh	-1%	24,228	-2%	23,984	-3%	23,739
		7,611	kg-CO <sub>2</sub>		7,535		7,459		7,383
2	電力使用量の削減 (工事現場) ※1 (排出係数) (CO <sub>2</sub> 排出量削減) 0.311	1,874	kWh	-1%	1,855	-2%	1,837	-3%	1,818
		583	kg-CO <sub>2</sub>		577		571		566
3	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (排出係数) (CO <sub>2</sub> 排出量削減) 2.32	11,170	ℓ	-1%	11,058	-2%	10,946	-3%	10,835
		25,914	kg-CO <sub>2</sub>		25,655		25,396		25,137
4	重機燃料使用量の削減 軽油 (排出係数) (CO <sub>2</sub> 排出量削減) 2.58	24,258	ℓ	-1%	24,016	-2%	23,773	-3%	23,531
		62,587	kg-CO <sub>2</sub>		61,961		61,335		60,709
5	二酸化炭素排出量 の削減	96,695	kg-CO <sub>2</sub>	-1%	95,728	-2%	94,761	-3%	93,794
6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	58.5 ※2	%	+0.1 (%)	58.6	+0.2 (%)	58.7	+0.3 (%)	58.8
7	一般廃棄物排出量 の削減	3900.2	kg	-3%	3783	-4%	3744	-5%	3705
8	問題発生を未然に抑える 取組の推進 ※3	—	%	評価ポイント 90ポイント(%) 以上	評価ポイント 91ポイント(%) 以上	評価ポイント 92ポイント(%) 以上	評価ポイント 92ポイント(%) 以上	評価ポイント 92ポイント(%) 以上	評価ポイント 92ポイント(%) 以上

(注) 化学物質は使用していないため、目標に設定していない。

(注) 水道料金は建物の賃貸料金に含まれており、量水計がないため使用量は不明であることから、環境経営目標には設定していないが、水使用量削減の手順書を定め、この手順通りに取組みを行っている。

※1 電力の二酸化炭素排出係数：0.311 kg-CO<sub>2</sub>/kWh（関西電力、2021年度の調整後排出係数）

※2 産業廃棄物のリサイクル率の向上；再資源化量(1022.7t)÷廃棄物排出量(1748.4t)=58.5%

※3 請け負った工事ごとに、現場代理人が「騒音・振動」、「水質汚濁」、「大気汚染」、

「建設廃棄物」に関する取組を項目ごとに点数評価し、下記の計算式でポイントを算出する。

ポイント (%) = 100 × 工事数 × 評価点数 (実績) / 工事数 × 評価点数 (満点(4))

7. 環境経営計画

No.	環境経営目標	環境経営目標の達成手段	スケジュール					実施体制 (責任者)
			全期	春期	夏期	秋期	冬期	
1	電力使用量の削減 (本社) (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	1.空調機による適切な温度管理			○		○	総務課 担当者
		2.不要照明の消灯	○					
2	電力使用量の削減 (工事現場) (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	1.空調機による適切な温度管理			○		○	環境管 理責任 者
		2.離席時のパソコンOFF	○					
3	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	1.アイドリングストップの徹底 2.急加速、急発進の防止	○					総務課 担当者
		3.タイヤ空気圧の定期的点検	○					
4	重機燃料使用量の削減 軽油 (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	1.アイドリングストップの徹底	○					環境管 理責任 者
		2.相乗りの励行(ダンプ、トラック)	○					
		3.タイヤ空気圧の定期的点検	○					
		4.過度な負荷をかけないアクセルワーク(重機)	○					
5	二酸化炭素排出量 の削減	・NO.1~4 に従う						
5	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	1.建設廃棄物の分別徹底	○					環境管 理責任 者
6	一般廃棄物排出量 の削減	1.リサイクルを意識した一般ごみの分別	○					総務課 担当者
		2.コピー紙の裏紙使用	○					
7	問題発生を未然に抑える 取組の推進	・ 請け負った工事ごとに、「騒音・振動」、「水質汚濁」、「大気汚染」、「建設廃棄物」について、適切な取組を実施(低騒音型重機使用、沈砂池の設置など)	○					環境管 理責任 者

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

No.	環境経営目標 (環境経営方針との関連)	環境経営計画に基づき 実施した取組内容	評価 ※4	環境経営計画の実績 (2024年4月～7月)				次年度の 環境経営計画			
				単位	目標	実績	達成率				
1	電力使用量の削減(本社) (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	・空調設定温度の励行	○	kg-CO <sub>2</sub>	1,821	1,656	110	%	・こまめな消灯の意識が浸透してきたように思われる	・現在の取組を継続する	
		・部分消灯及びこまめな消灯	○		達成状況						○
2	電力使用量の削減(工事現場) (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	・空調設定温度の励行	○	kg-CO <sub>2</sub>	8	238	3	%	・基準年度に現場事務所の設置が無く、目標値が異常に小さくなり、達成率が極めて低くなってしまった。	・現在の取組を継続する	
		・離席時のパソコンOFF	○		達成率						×
3	自動車燃料使用量の削減(ガソリン) (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	・急発進の防止	○	kg-CO <sub>2</sub>	7,859	9,788	80	%	・エコドライブの意識が浸透した	・自覚教育などを通じて、更に意識を徹底させる	
		・アイドリングストップ	○		達成率						×
		・適正空気圧の確保	○		達成状況						×
4	重機燃料使用量の削減(軽油) (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	・アイドリングストップ	○	kg-CO <sub>2</sub>	13,109	35,070	37	%	・アイドリングストップは定着した	・引き続き、作業内容に応じたアクセルワークの習得に努める	
		・作業内容に応じたアクセルワークの実施	○		達成率						×
		・相乗りの敢行	○		達成状況						×
		・適正空気圧の確保	○								
5	二酸化炭素排出量の削減 ※1	No.1～No.4 に記載		kg-CO <sub>2</sub>	22,797	46,752	49	%	No.1～No.4 に記載	No.1～No.4 に記載	
					達成率						×
					達成状況						×
6	産業廃棄物排出量の削減 ※2	・建設現場での分別強化	○	%	58.6	100	171	%	・分別の意識が浸透した	・現在の取組を継続する	
					達成率						○
					達成状況						○



7	一般廃棄物 排出量の削減	・コピー用紙の裏紙使用	○	単位	kg	・コピー用紙の裏紙使用を徹底した	・コピー機に裏紙専用トレイを設ける
		・一般廃棄物分別の徹底による再資源化の推進	○	目標	2204		
				実績	492.2		
				達成率	448 %		
				達成状況	○		
8	問題発生を未然に抑える取組の推進 ※3	・工事における下記の環境配慮活動の実施		単位	%	(実施した工事の環境配慮)低騒音型重機使用、沈砂池の設置、排ガス第3次規制対応車使用、特定建設資材の100%リサイクルなど	・工事における環境配慮活動を更に徹底する
				目標	100		
				実績	100		
		(1)騒音・振動の低減	○	達成率	100 %		
		(2)水質汚濁の防止	○	達成状況	○		
		(3)大気汚染の防止	○				
(4)建設廃棄物のリサイクル	○						
実施体制		・実施体制（環境管理責任者、環境委員会並びに各目標ごとに設定された実施責任者）は有効に機能しており、これを継続する					

※1 灯油の値は含まれていない。（使用量が少ないため、目標に設定していない）

二酸化炭素排出量（総量）の実績 = 46,626 kg-CO<sub>2</sub>（取組期間中）

※2 産業廃棄物のリサイクル率の向上(実績)； $100 \times \text{再生量}(1418\text{t}) \div \text{発生量}(1418\text{t}) = 100\%$

※3 問題発生を未然に抑える取組；ポイント(%) =  $100 \times 4\text{点(実績)} / 4\text{点(満点)} = 100\%$

※4 評価：◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった

※5 達成状況：○目標達成 ×目標未達成

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

適用される法令等	主な遵守すべき内容 ※	遵守状況
1 廃棄物処理法	処理業者との適正な契約並びに業者の許可証有効期限の確認	遵守
	マニフェスト伝票の管理（法定記載事項、照合確認、5年間保存）	遵守
	廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
	マニフェスト交付状況の知事への報告（毎年6月30日までに）	遵守
2 建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化（コンクリート、廃木材、アスファルト等）	遵守
	元請業者の発注者への再資源化に関する書面報告、並びに再資源化実施状況の記録作成と保存	遵守
	都道府県知事への事前届出の提出（工事着手の7日前まで）	遵守
3 騒音規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
	規制基準の順守	遵守
4 振動規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
	規制基準の順守	遵守
5 自動車Nox ・PM法	・規制対象車両の登録禁止	遵守
	・規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
6 オフロード法	・使用の制限：基準適合表示車でなければ使用できない	遵守
	・制作等事業者の形式届出、基準適合表示	遵守

※ 紙面の都合のため、主要な遵守すべき内容を抜粋し、簡略的に記載しており、詳細は「環境法規制等一覧表兼順守評価記録」で管理している

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等は過去5年間、1件も発生してありません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し年月日：2024年 8月19日  
 作成日：2024年 8月19日  
 代表者：杉本 昌一  
 作成者：杉本 一斗

見直しに必要な事項		環境管理責任者の報告	代表者による指示	変更の必要性
環境経営方針	環境経営方針に示された環境への取組の基本的方向は現在も適切か	環境経営方針は適切である	環境経営方針は変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
環境経営目標及び環境経営計画	環境経営目標・計画の達成状況は妥当か ・課題とチャンス、・二酸化炭素排出量削減、・廃棄物排出量削減、・水使用量削減、・製品・サービスの環境性能の向上	【環境経営目標達成状況】 目標9件中5件達成 【評価】 今年度は受注が良く、年度早々に電気、燃料を多く使用する現場があり、4か月時点での達成状況は悪いが、1年間様子を見たい。	環境経営目標及び環境経営計画は変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
その他の環境経営システム	・環境負荷の大きな変化	なし	その他の環境経営システムは適切に運用・維持されており、変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	・法規制等の遵守状況	違反はない		
	・教育・訓練の実施	計画どおり実施した		
	・外部からの苦情や要望	なし		
	・実施及び運用の適切性	取組み状況に問題なし		
	・緊急事態への準備状況	令和6年6月28日訓練実施		
	・取組の確認並びに是正処置の状況	問題点はあったが、是正できた		
	・環境経営レポートの作成と公表、活用状況	2025年度環境経営レポートは6月末日作成予定		
実施体制	実施体制は効果的であり、変更の必要性はないか	実施体制は効果的である	実施体制は継続する	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
前回の代表者指示事項のフォローアップ	今回が初めての取組みであることから、前回の指示事項はありません。			
代表者の指示事項	地域社会への貢献の為に、各現場において、より積極的な取組みを行っていくこと。			
代表者の総合評価※	機械が多く稼働する現場があり、前年度より軽油の使用量が増えてしまったが、環境意識の向上がみられる。 まだ4か月しか運用していないため、このまま継続していきたい。			

※次年度以降への展開を重点に記載する